

令和6年度 第2回 鎌倉市国民健康保険運営協議会会議録

1 日 時 令和6年(2024年)8月22日(木)午後1時30分から2時30分  
まで

2 場 所 402会議室(オンライン可)

3 出席委員

区 分	氏 名	出 欠
被保険者代表	友松 由紀子	出席
〃	内田 由紀	出席
〃	中本 淳子	出席
〃	松村 俊樹	出席
〃	千代 美和子	出席
医療担当代表	山口 泰	出席(オンライン)
〃	倉岡 隆	出席(オンライン)
〃	島田 博	欠席
〃	山内 由光	出席
〃	金林 茂	出席
公益代表	酒井 捷允	出席
〃	吉中 季子	出席
〃	松宮 さきく	出席
〃	近内 美乃里	欠席
〃	笠間 玲子	出席
被用者保険等	阿部 美弥子	出席(オンライン)

以上 14名(敬称略)

4 事務局 正木保険年金課長、笛田課長補佐、石井係長、大井職員、  
長山職員

5 議事日程

(1) 令和5年度鎌倉市国民健康保険特別会計決算について

(2) 国民健康保険事業について

### (3) その他

## 6 会議の内容

### (1) 会議概要

- ・ 開会（正木課長）
- ・ 議事進行（酒井会長、事務局）
- ・ 本協議会の成立の報告（事務局）
- ・ 閉会（酒井会長）

### (2) 議事概要

議題1 令和5年度鎌倉市国民健康保険特別会計決算については、正木保険年金課長の説明の後、質疑に入った。概要は次のとおり。

山口委員 出産育児一時金繰入金と未就学児均等割保険料繰入金は、出産数が減ったことによる貯金されていたものから繰り入れたものなのか。

正木課長 予算計上されているものであり、国、県、市がそれぞれの負担を支出するため、繰り入れたものであり、貯金を取り崩しているものではない。

千代委員 産前産後保険料繰入金は令和4年度決算額が0であるがなぜなのか。

正木課長 制度改正により、令和5年度から施行されたため。

山内委員 不納欠損額は、1年分であるのか。

正木課長 保険料の時効は2年となっているが、一部納付や分納誓約をしたものについては、時効は延長されているため、1年分ではない。

山内委員 不納欠損となった世帯数は、どのくらいか。

正木課長 令和4年度は、約1,400世帯であり、令和3年度は約1,600世帯であるため、令和5年度も同程度の世帯数と考えている。

山内委員 保険証の返却について、市は行っているのか。有効期限切れの保険証で受診する方がいるため、対策を行ってほしい。

正木課長 基本的には、返却のご案内はしているが、全員が返却することもできないため、有効期限切れの保険証については、ご自身の責任のもと破棄していただくことも可としている。

質疑終了後、議題1については、原案のとおり承認された。

議題2 国民健康保険事業については、正木保険年金課長の説明の後、質疑に入った。概要は次のとおり。

金林委員 生活習慣病重症化予防事業の(3)糖尿病重症化予防事業(ICT機器活用型)の実績が9名ですが、今後増やしていくのか。

石井係長 糖尿病重症化予防事業は、なかなか利用率が上がらなかった。

そのため、保険事業として自分たちでできることを模索したところ、特定保健指導利用率向上対策事業の積極的支援の中の「はかるだけダイエット」の事業者から皮膚にパッチをつけてスマートフォンと連動させ、血糖値の変動を知ることができるものを提案された。市の職員がモニターをした結果、これであればご自身で気を付けることができるかと判断し、実施している。なお、そのデータを基に管理栄養士による指導もできる。

大井職員 人数については、9名から18名に増やしたいと考えている。

金林委員 この事業を行っている方たちは、糖尿病対策に関心がある方なので、関心がない方への働きかけもお願いしたい。

正木委員 特定健診の受診率を向上させて、少しでも多くの方の生活習慣病を予防していかないといけないと考えている。

山口委員 機材を活用する事業は、実施時は効果が得られて良いものである。しかし、1回限りの事業があり、翌年も利用できないものもある。継続して利用できるようにしてほしい。

また、特定健診にて多くのデータを集められているが、上手く活用されていない状況である。特定健診では、eGFRを計測しているが、将来に透析になる方を予測する「L T E P (エルテップ)」というソフトウェアが開発されたので、早めに介入し、透析にならないようにするために、導入を検討

していただけないか。

正木委員 機材を活用する事業を継続してできるようにする点は、今後検討していく。

医療費を抑制させるためにも、腎臓病も予防する必要があると考えているため、ソフトウェアの導入は検討していく。

「L T E P (エルテップ)」の紹介があったが、国保中央会も同様のシステムを開発したとの情報もあり、医療費を抑制させるためにも、腎臓病も予防する対策をしなければならない時期が到来してきていると考えているため、ソフトウェアの導入は検討していく。

質疑終了後、議題2については、原案のとおり承認された。

議題3の「その他」については、特にないことを確認した。

以上で令和6年度第2回鎌倉市国民健康保険運営協議会は終了した。